

入選

わたしのスーパーヒーロー

福岡県 塔野小学校

6年 伊東愛惟

お腹がぼっこりしている「じいじ」。お酒と料理が大好きで、得意料理はキュウリの床漬けとからあげとピザ。写真を撮るのも上手。何より音楽が大好きで、たくさんの楽器を作ったり、演奏したりすることができる。70歳を過ぎて、サクソを始めた。

趣味がたくさんあって、やりたいと思ったことは挑戦するじいじは、カッコいい。それよりも、じいじがすてきなあとと思うところがある。それは、すぐに行動できること。

私が「梅ジュースを飲みたい」と言うと、次に会うときには梅のシロップを漬けていて、にやりと笑って見せてくれる。「プールに入りたい」と言うと、夏休みに庭にプールを用意してくれた。暑くないように、大きなパラソルもあった。

プールで遊んでいるときに、私たちが「蚊が来たー！」と叫ぶと、すぐに虫よけスプレーをシューッとまいてくれた。私が体調を崩して学校を休んで家にいると、ゼリーと飲み物を届けに来てくれた。ずっとベッドで寝ている96歳のひいじいちゃんのために、Tシャツに短パン姿でぼっこりお腹を揺らしながら、お風呂に入れてあげる。近所で、犬のふんが片付けられていなくて困っているのを知ると、区役所に相談に行って、「犬のふんは持ち帰りましょう」のパネルをもらってきて設置した。ひいばあちゃんの通っていたデイケアで、コンサートをしてほしいと頼まれると、自分で作ったケーナを持って行って、演奏した。ひいばあちゃんは、

『息子さん上手ですね』って言われて、恥ずかしかった。」

と、うれしそうに言っていた。

じいじは、誰かの願いや悩みが聞こえてくると、すぐに飛んできて解決してくれるスーパーヒーローだ。誰かのために、何かをすることを楽しんでいるようにも見えるじいじ。面倒くさがらずに、世のため人のためにがんばる親切なじいじが大好きだ。

そんなじいじに、「親切やね。」と言われてびっくりしたことがある。去年の幼稚園のおゆうぎ会に熱を出して出られなかった妹のために、家でステージと衣装を作ってあげたときのことだ。一生懸命歌っておどる妹が可愛くて、がんばっていた妹に思い出を作ってあげたくて、準備した。

招待状、段ボールの看板、バンダナを敷いた観客席も作った。母がその発表会を動画にとって、じいじに見せた。それを見たじいじが、にやりと笑って、「親切やね。」と言ったのだ。親切なことをしようと思った訳ではなかった。工作が好きだから、準備も楽しくて面倒くさくなかった。もしかしたら、じいじもこんな気持ちなのかと思った。これが親切なのか。

今度から、カッコいいじいじを見たら「親切だね。」と言いたい。親切ってした方もされた方もうれしくなるんだ、と教えてくれたじいじ。

私も、じいじみたいなスーパーヒーローになれるようにがんばります。